

## みずほCustomer Desk Report 2018/02/20号(As of 2018/02/19)

## 【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD	公示値	106.31
TKY 9:00AM	106.27	1.2412	131.93	1.4033	0.7911		
SYD-NY High	106.72	1.2435	132.35	1.4048	0.7935		
SYD-NY Low	106.10	1.2370	131.84	1.3960	0.7898		
NY 5:00 PM	106.60	1.2407	132.21	1.3998	0.7912		
NY DOW	-	-	日本2年債	-0.1600	0.00bp		
NASDAQ	-	-	日本10年債	0.0600	1.00bp		
S&P	-	-	米国2年債	-	-		
日経平均	22,149.21	428.96	米国5年債	-	-		
TOPIX	1,775.15	37.78	米国10年債	-	-		
シカゴ日経先物	-	-	独10年債	0.7315	2.70bp		
ロンドンFT	7,247.66	▲47.04	英10年債	1.6020	2.20bp		
DAX	12,385.60	▲66.36	豪10年債	2.8685	▲2.50bp		
ハンセン指数	-	-	USDJPY 1M Vol	9.41	▲0.45%		
上海総合	-	-	USDJPY 3M Vol	9.29	▲0.09%		
NY金	-	-	USDJPY 6M Vol	9.19	▲0.20%		
WTI	-	-	USDJPY 1M 25RR	-1.60	Yen Call Over		
CRB指数	-	-	EURJPY 3M Vol	9.40	▲0.08%		
ドルインデックス	89.19	0.09	EURJPY 6M Vol	9.45	▲0.06%		

## 東京

中国や香港等が春節のため休暇中であることや米国が祭日(プレジデンツデー)であることから市場参加者が少ない中、積極的にポジションを取る動きは少なく、ドル円は小幅なレンジでの推移となった。東京時間のドル円は106.27レベルでオープン、高寄りした日経平均株価が堅調推移となったことを横目にドル円は106.35まで上昇。その後、東京時間安値106.10まで下落する場面も見られたが、午後に入り、日経平均株価が一段と上げ幅を拡大させる展開に106円台半ばまでじりじりと上昇、106.61レベルでクローズした。(東京15:30)

## ロンドン

ロンドン市場のドル円は米国が祭日(プレジデンツデー)となるため市場参加者が少なく動意薄の展開となった。106.61レベルでオープン後、106円台半ばを中心とした動きとなった。106.58レベルでロンドンはクローズした。ポンド円は往って来いの展開。1.4022レベルでオープン後、新規材料難の中でポジション調整の売りに1.3995まで下落。その後は再び買い戻されて1.4010レベルでロンドンはクローズした。(00531 444 179 ロンドンルリー 西海)

## ニューヨーク

NY市場休場

## 【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
2月19日		米市場休場(プレジデンツデー)		
	8:50 日	貿易収支	1月 -¥943.4B	-¥1020.2B

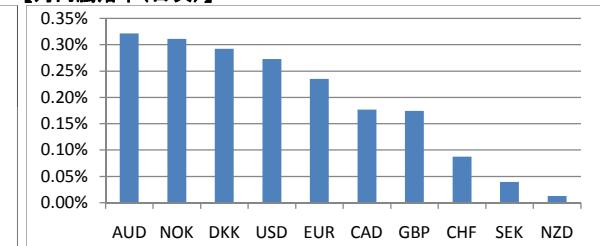
## 【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
2月20日	19:00 独	ZEW景気期待指数	2月 16.0	20.4
2月21日	0:00 欧	消費者信頼感・1次速報値	2月 1.0	1.3

## 【ドル円相場】



## 【対円騰落率(日次)】



## 【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	106.00-107.00	1.2370-1.2470	131.80-132.80

## 【マーケット・インプレッション】

昨日海外時間のドル円は、米国が祝日であったため小動きの展開。週明けのドル円相場は、株式市場が落ち着きを取り戻し、ドル円も日経平均の上昇に連れて106円台を回復した。本日は旧正月で引続き流動性が乏しい中、値動きの軽さには注意が必要で、フロー動向に注目したい。vixやドル円のボラティリティは小緩んでおり、ドル円の下落警戒感も薄れていることから、本日は戻り高値の水準を探る展開となろう。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧説を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることがあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようにお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁します。

担当:橋・西谷